

総合病院国保旭中央病院で診療を受けられる患者さんへ

総合病院国保旭中央病院では、以下の研究を実施しております。

研究の対象になる可能性がある患者さんで、診療情報が研究目的で利用されることを望まれない方は、下記のお問い合わせ先にご連絡下さい。

1. 研究課題名

当院血管外科における非破裂性腹部大動脈瘤開腹手術例の成績に関する研究

2. 研究の対象患者

1992年10月から2017年7月の間に、非破裂性腹部大動脈瘤にて、当院で開腹手術をされた患者さん。

3. 研究の対象期間

1992年10月1日～2017年7月31日

4. 研究の概要

腹部大動脈瘤 (abdominal aortic aneurysm: AAA) の治療には、開腹手術とカテーテル治療 (endo-vascular aneurysm repair: EVAR) があり、開腹手術は確立された方法で長期成績も良好だが、高齢者や複数の併存疾患を有する患者では合併症と死亡リスクがある。より低侵襲であるEVAR治療が普及してきたが、長期成績が不明であり、再破裂のリスクも有するため生涯にわたる検査が必要である。当院は、開腹手術の合併症を減らして早期退院を目指してきたが、25年間に亘るAAA開腹手術の周術期データを後方視的に検討して、術式改良の変遷と合併症を減らすための工夫をまとめて発表することで、開腹手術の安全性と有効性を示して、日本の開腹手術の成績向上に利することをめざしている。

5. 研究実施予定期間

2017年10月2日～2017年11月30日

6. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：

術前因子：年齢、性別、既往歴、併存疾患、大動脈瘤径、

術中因子：剥離時間、大動脈遮断時間、手術時間、出血量、尿量、輸血量、輸血率

術後因子：歩行開始日、食事開始日、術後入院日数、術後合併症、死亡率、等

7. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保証に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出下さい。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

(連絡先) 地方独立行政法人 総合病院国保旭中央病院

・研究責任者：血管外科 古屋 隆俊

・臨床研究支援センター

電話：0479-63-8111(代)